

9月16日
オープン
予定

80年以上続くアルゼンチン共和国との友好の証



チャレンジショップ&国際交流記念館
モンテネグロ会館

75%
補助金
活用

総工費	約 4,000 万円
国補助金	約 2,000 万円
交付税措置	約 1,000 万円

8月1日
オープン!



63.5%
補助金
活用

総工費	約 2 億円
国補助金	約 1 億円
交付税措置	約 2,700 万円
※残りは賃料で回収	

境町観光情報発信施設&カフェ
8代葵カフェハワイ境店

伝統や文化、歴史を「つなぐ」施設

境町・アルゼンチン友好の記念館&さし茶カフェ

境町 モデルの施設運営で 維持管理費は0円!

従来の方式では、資料館の運営・維持管理は町が行い、費用も町の負担でした。

資料館にチャレンジショップを併設し、事業者がカフェ運営を行いながら、建物の維持管理・運営を行うことで、町の**運営管理費は0円**に!

さらに、施設の賃料1万5千円が毎月、町の収入となり、**施設への投資を回収**する仕組みです。



事業者



維持管理費
・人件費・光熱費・維持管理費・諸経費など
⇒事業者が負担

賃料
1万5,000円/月
を支払い

収入



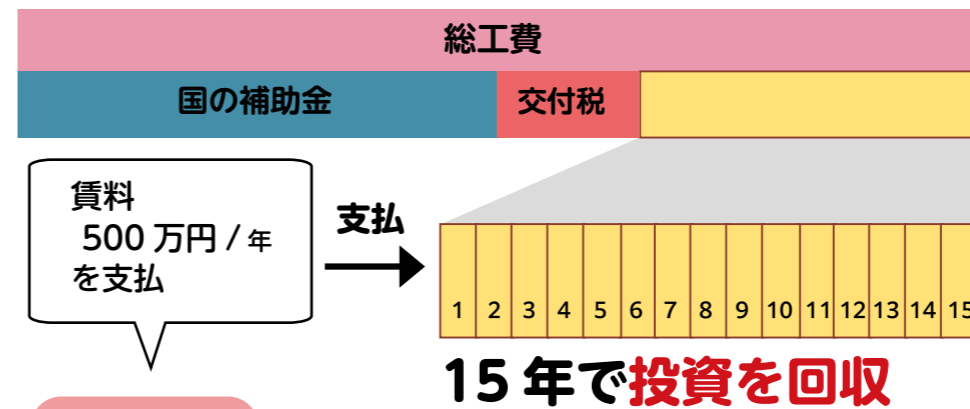
アルゼンチン共和国と境町の交流の証「モンテネグロ会館」が資料館&カフェに!

アルゼンチンと境町との交流の歴史は、1853年(嘉永6年)の黒船来航まで遡ります。交流の中で、1937年(昭和12年)に最初のモンテネグロ会館が建設されました。その後モンテネグロ会館は地域の青年研修所として81年間活用され、老朽化が進みましたが、2018年(平成30年)、日亜外交樹立120周年を迎えた年に、アラン・ペロウ駐日アルゼンチン共和国特命全権大使と橋本正裕町長により、日亜両国友好の証、歴史遺産として遺すことになり、世界的な建築家である隈研吾氏に設計を依頼、2020年に改築されました。

魅力あるカフェと町のPR施設を融合

リゾート風カフェ+地場産品直売所

賃料で施設投資を回収!町の持ち出しを**0円**に!
坂東太郎による運営で、維持管理費も**0円**!



従来なら
町の持ち出しに
なる部分

坂東太郎



カフェ運営と施設維持管理を行う



運営コスト

- ・人件費
- ・維持管理費
- ・光熱費
- ・諸経費
- などを負担

境町

維持管理費0円で
施設運営を実現

友好親善都市・ハワイ州ホノルル市との交流拠点
「8代葵カフェハワイ境店」